

## 第1章 国土に係る状況の変化

### 第1節 国土を取り巻く時代の潮流と課題

- (1) 急激な人口減少、少子化
- (2) 異次元の高齢化の進展
- (3) 都市間競争の激化などグローバル化の進展
- (4) 巨大災害の切迫、インフラの老朽化
- (5) 食料・水・エネルギーの制約、地球環境問題
- (6) ICTの劇的な進歩など技術革新の進展

### 第2節 国民の価値観の変化

- (1) ライフスタイルの多様化
  - ・国際化の中で競争に勝ち抜き経済的豊かさを目指す「国際志向」
  - ・自然や地域に根付いた金銭に換算できない豊かさを求める「地域志向」
- (2) コミュニティの弱体化、共助社会づくりにおける多様な主体の役割の拡大・多様化
- (3) 安全・安心に対する国民意識の高まり

### 第3節 国土空間の変化

- (1) 低未利用地や耕作放棄地、空き家、所有者の所在把握が難しい土地等の問題の顕在化
- (2) 森林の適切な整備・保全や国産材の本格的活用による持続的な森林管理の必要性
- (3) 海洋環境及び海洋権益の保全、海洋資源の利活用、離島地域の適切な管理を行う必要

## 「日本の命運を決する10年」

## 第2章 国土の基本構想

### 第1節 「対流促進型国土」の形成:「対流」こそが日本の活力の源泉

#### ○「対流」の意義

- ・多様な個性を持つ様々な地域が相互に連携し生じる地域間のヒト、モノ、カネ、情報等の双方向の動き。地域間の個性の差が際立つほど、よりダイナミックに
- ・単なる平面的な二地域間交流だけでなく、広がりのある立体的で重層的な「対流」を促進

#### ○「対流」の発生、維持、拡大と対流促進型国土

地域の多様な個性が温度差となって対流が発生、維持、拡大する「対流促進型国土」の形成を図ることを国土の基本構想とする

### 第2節 重層的かつ強靱な「コンパクト+ネットワーク」

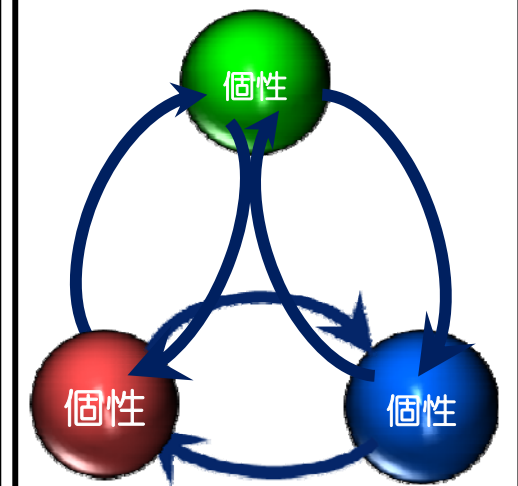
様々な「コンパクト+ネットワーク」が国土全体に重層的に広がる。生活サービス機能から高次都市機能、国際業務機能まで提供され、イノベーションを創出するとともに、災害に対しても強くしなやかな国土構造を実現

### 第3節 東京一極集中の是正と東京圏等の位置づけ

### 第4節 地域別整備の方向

- ・集落地域、地方都市圏、地方広域ブロック、大都市圏
- ・都市と農山漁村の相互貢献による共生

対流は立体的に



## 第3章 国土の基本構想実現のための具体的方向性

### 第1節 ローカルに輝き、グローバルに羽ばたく国土

#### (1) 個性ある地方の創生

- ・地域構造の将来像(「小さな拠点」、「コンパクトシティ」、地域間連携)
- ・魅力ある「しごと」の創出(地域資源の活用、農林水産業の6次産業化、観光振興、サービス産業の生産性向上、イノベーション拠点の形成等)
- ・人の対流の推進(移住、二地域居住、二地域生活・就労等)

#### (2) 活力ある大都市圏の整備

- ・大都市圏の強い個性と連携による新たな価値の創造(東京オリンピック・パラリンピックを契機とし、その後も見通した取組の推進等)
- ・安全・安心な大都市圏の形成(「地域包括ケアのまちづくり」等)
- ・安心して子どもを産み育てるための環境整備(子育てに適したまちづくり)

#### (3) グローバルな活躍の拡大

- ・世界に活動の場を拡げ、成長力を高める(選択と集中、産学官金の連携等)
- ・グローバルな対流の高度化(空港、港湾の機能強化、日本海・太平洋二面活用型国土等)
- ・リニア中央新幹線によるスーパー・メガリージョンの形成
- ・観光立国のさらなる展開(2020年を大きな通過点としつつ、その後の長期を見通した戦略的な取組の推進等)

### 第2節 安定した社会を支える安全・安心な国土

#### (1) 安全・安心で持続可能な国土の形成

- ・災害に対し粘り強くしなやかな国土の構築(多重性・代替性、東北の復興等)
- ・国土の適切な管理・土地の有効利用(農用地の保全、森林の整備及び保全、健全な水循環の構築等)
- ・環境と共生した持続可能な国土づくり(生物多様性の確保、適正な物質循環の構築、地球環境問題への対応)
- ・海洋・海域の保全と利活用
- ・国民の参加による国土管理(国土の多面的・選択的な利用等)

#### (2) 国土基盤の維持・整備・活用

- ・戦略的メンテナンスの推進、スマートインフラ化の普及
- ・安全安心インフラ、生活維持インフラ、成長インフラの整備における「選択と集中」の徹底
- ・インフラを支える担い手の確保(現場の担い手・技能人材の確保・育成)

### 第4節 横断的な視点

(1) 時間軸の設定

(2) ICT等の技術革新の導入

(3) 民間活力の活用(PPP、PFI等)

### 第3節 国土を支える参画と連携

#### (1) 地域を支える担い手の育成

- ・地域づくりを担う人材の育成
- ・「若者希望社会」の形成
- ・「女性活躍社会」の実現
- ・「高齢者参画社会」の推進

#### (2) 共助社会づくり

- ・共助社会づくりにおける多様な主体の形成
- ・人の対流を活用した共助社会づくり
- ・コミュニティの再生
- ・出産・子育ての環境整備(職住近接、ネットワーク等)

# 中国圏広域地方計画 目次構成

## ～瀬戸内・日本海に臨む基幹産業と里山の資源で創る交流圏域～

### はじめに

計画の意義、計画期間、計画対象区域

### 第1章 中国圏の現状と課題及びポテンシャル

#### 第1節 中国圏の現状と課題

- 1. 全国に先行する人口減少・高齢化の進展
- 2. 拡大する東アジアとの経済交流
- 3. 圏域内での日帰り交流が困難な地域や情報格差の存在
- 4. 蓄積のあるものづくり産業と課題を抱えるサービス産業
- 5. 衰退し集落の消滅が危惧される中山間地域等
- 6. 中心市街地の空洞化等が懸念される都市地域
- 7. 圏域内格差を抱える中国圏
- 8. 風水害や地震等に対する脆弱さを内包する国土
- 9. 地球温暖化や地域の水域環境等への対応
- 10. 基礎自治体の再編と生活に必要なサービスの確保
- 11. 「新たな公」を担う住民等の活動の活発化

#### 第2節 中国圏のポテンシャル

- 1. 東アジアや西日本における交流の歴史と地理的優位性
- 2. 欧州の中規模国に匹敵する人口・経済力
- 3. ものづくり産業の強みによる自立的発展の可能性
- 4. 分散する様々な規模の都市と豊かな自然環境の共存の可能性

### 第2章 中国圏の将来像

#### 第1節 地域の多様性を活かした交流・連携で、持続的に発展する中国圏

- 1. 多様な地域が連携した一体感のある中国圏の形成
  - (1) 歴史・文化の継承、創造
  - (2) 分散する都市を活かした中国圏の形成
  - (3) 都市と中山間地域等の多様な交流の拡大
  - (4) 基幹的な交通機能の整備
  - (5) 情報通信ネットワークの強化
- 2. 隣接圏域を含めた交流・連携による活力・魅力の向上
  - (1) 隣接圏域等との広域連携の推進
  - (2) 広域的な産業連携の推進
  - (3) 広域的な連携による観光振興の促進
- 3. 東アジアを始め世界に開かれた交流・連携
  - (1) グローバルゲートウェイ機能の強化
  - (2) 国際経済交流の推進
  - (3) 外国人観光旅客の来訪の促進
  - (4) 国際文化交流の推進
  - (5) 国際貢献の拡大
- 4. 中国圏の持続的発展を支える多様な人材の育成・確保
  - (1) 教育・学習システム改革の推進
  - (2) 産業を支える人材の育成・確保
  - (3) 地域を支える人材育成

#### 第2節 産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏

- 1. 国際競争力のある産業の振興
  - (1) 基幹産業の国際競争力の強化
  - (2) 国際的な物流基盤の強化
  - (3) 産業集積の広域連携や知的資源を活かした新技術・新産業の創出
  - (4) 産業集積の機能を高める戦略的な企業誘致
- 2. 地域の活力につながる産業の振興
  - (1) サービス産業におけるイノベーションと生産性向上の促進
  - (2) 生活関連サービスの振興
  - (3) 中国圏の自立を支える都市圏におけるビジネス環境の整備
- 3. 地域資源を活かした地域経済の活性化
  - (1) 農林水産業の再生
  - (2) 地域資源を活かした新産業創出等
- 4. 地球温暖化・エネルギー問題への対応による産業の振興
  - (1) 基幹産業の省エネルギー化等による競争力の強化
  - (2) 地球温暖化対策に資する地域産業の振興

#### 第3節 多彩な文化と自然を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏

- 1. 中山間地域等と都市地域との交流・連携等による生活サービス機能の確保
  - (1) 中山間地域や島しょ部における一次生活拠点の確立と多様なサービス提供
  - (2) 中山間地域や島しょ部と生活中心都市の機能連携
  - (3) 地域を支える高次な生活支援機能の整備
  - (4) 都市地域の快適な生活環境の整備
- 2. 安全・安心な国土・地域づくりの推進
  - (1) 国土管理と既存社会資本基盤の戦略的な管理の推進
  - (2) 災害に備えたハードとソフトの整備
  - (3) 自然環境の保全
  - (4) 中山間地域等の多面的機能の維持
  - (5) 地球温暖化対策等環境に配慮した都市づくりの推進
- 3. 多様な主体が連携・協働した地域づくりの推進
  - (1) 自立した地域活動を推進する多様な主体が協働できる仕組みづくり

#### 第4節 将来像において横断的に持つべき視点

- ・多様な人材の育成・確保
- ・低炭素・循環型地域づくりの推進
- ・災害に強い国土・地域づくりの推進
- ・基幹的交通・情報通信ネットワークの形成
- ・都市地域と中山間地域等を総合的に捉えた地域戦略の推進

### 第3章 将来像実現に向けたプロジェクト

- 1. ものづくり産業の再構築・高度化による競争力強化プロジェクト
- 2. 臨海部産業支援のための国際物流機能強化プロジェクト
- 3. 日本海沿岸における北東アジアゲートウェイプロジェクト
- 4. 基幹的交通・情報通信ネットワーク整備プロジェクト
- 5. 里地・里山・里海における農林水産業再生プロジェクト
- 6. 地場産業を創出する地域資源活用プロジェクト
- 7. 中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト
- 8. 中国圏の低利用資源を活用した低炭素・循環型地域づくりプロジェクト
- 9. 瀬戸内海の保全・活用プロジェクト
- 10. 中国圏の歴史・文化発信とまると観光推進プロジェクト
- 11. 東アジアから世界への交流推進プロジェクト
- 12. 分散型地域構造の核となる都市整備プロジェクト
- 13. 中国圏のサービス産業育成プロジェクト
- 14. 美しく強靱な中国圏域づくりプロジェクト
- 15. 中国圏の人づくりプロジェクト

### 第4章 他圏域と連携して取り組むべき施策

- 広域連携による観光振興・外国人観光旅客の来訪の促進
- 産業集積地間の連携による国際的な産業拠点形成
- 瀬戸内海の環境保全と修復
- 暮らしの安全・防災ネットワークの整備
- 広域交通ネットワークの連携促進

### 第5章 計画の効果的な推進

- 1. 多様な主体の連携による計画の推進
- 2. 計画のモニタリング等